

平成28年12月8日

北陸信越運輸局海事部

## 船舶の津波避難対策について

～船舶運航事業者の津波対策を支援しています～

### 1. 船舶運航事業者による津波避難マニュアルの作成支援

国土交通省では、船舶運航事業者が津波避難対策のために必要な情報の整理や避難指針等からなる津波避難マニュアル（別添1参照）を作成することを支援するため、平成26年3月に「船舶運航事業者における津波避難マニュアル作成の手引き」を、さらに、平成27年6月には同手引きの簡易版である「簡易マニュアル様式」を公表し、津波避難マニュアルの作成を働きかけてきました。

この結果、北陸信越運輸局管内では、これまでのところ、離島航路事業者3社（佐渡汽船株、粟島汽船株、へぐら航路株）、その他の旅客航路事業者1社（富山県）と内航海運事業者1社（株水嶋海事工業）において津波避難マニュアルが作成されています。

### 2. 津波対応シートによる中小船舶運航事業者等の津波避難マニュアルの作成支援

しかしながら、船舶運航事業者の約9割を占める中小規模の事業者においては、簡易マニュアル様式によっても、津波避難マニュアルの作成は容易ではないため、国土交通省では、本年7月、穴埋めするだけで必要最小限の津波避難マニュアルが作成できる「津波対応シート」（別添2）を公表し、船舶運航事業者に同シートによる津波避難マニュアルの作成を働きかけています。

北陸信越運輸局では、研修会等の機会を利用して管内の船舶運航事業者に対して「津波対応シート」による津波避難マニュアルの作成を働きかけています。

また、日本に寄港する外国船舶に対しても「津波対応シート」を翻訳した外国語版（英語版、中国語版、韓国語版、ロシア語版、スペイン語版）を策定し、船舶代理店を通じて周知しています。

※ 「船舶運航事業者における津波避難マニュアル作成の手引き」、「簡易マニュアル様式」「津波対応シート」は下記のHPでご覧になれます。

[http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime\\_mn6\\_000003.html#12](http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_mn6_000003.html#12)

#### 【問い合わせ先】

北陸信越運輸局海事部

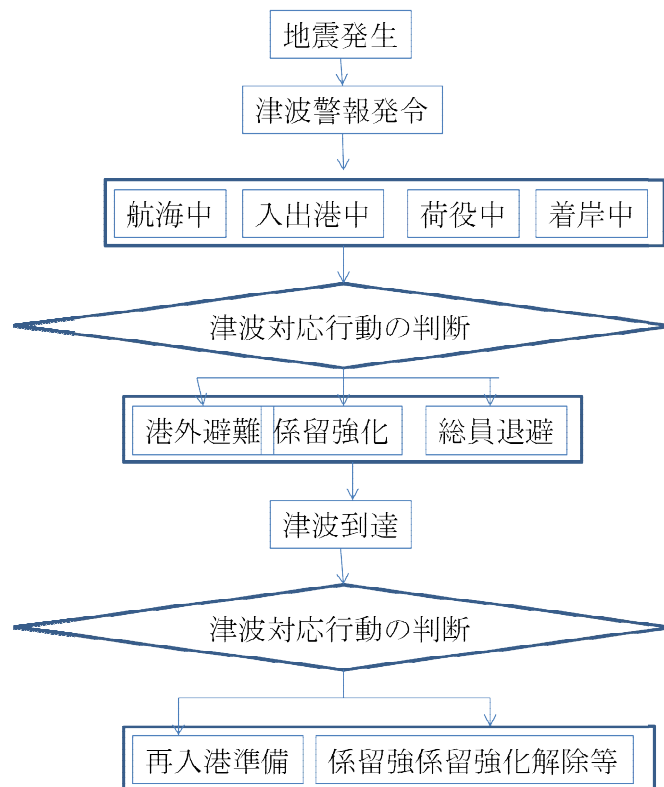
海事保安・事故対策調整官 卯野 薫

TEL (025)285-9158

## 津波避難マニュアルの構成

- 1 地震・津波情報の収集
  - ①地震発生時に収集すべき情報（気象庁発表情報）、②事前に把握すべき津波情報（津波防災情報図等）
- 2 津波襲来時における本船の状況把握
  - ①本船に設置している使用可能な通信機器と優先度、②乗組員の確保、③荷役の中止、④操船支援確保の可否、⑤係留状態における津波の影響
- 3 津波襲来時における周囲の状況把握
  - ①ターミナル等の被災状況、②船舶への避難勧告など情報、③港内交通管制の情報、④避難海域
- 4 津波対応行動の判断
  - ①港外避難、②係留強化、③総員退避
- 5 航行安全情報
  - ①沈没物・漂流等の情報、②避難中の航行安全情報、③津波警報・注意解除後の判断、④緊急確保航路情報
- 6 津波襲来時に起こりうるその他事象
  - ①地震により自船が被災した場合、②自船が避難場所になる場合、③陸域への避難行動、④外国人船長への支援
- 7 その他
  - ①乗組員への津波避難マニュアル周知、②津波避難を想定した訓練

(津波発生時の船舶の対応フロー)



記入者:	【 _____ 港】 旅客船用																											
<b>津波対応 確認事項</b>																												
船舶運航事業者が事前に記入（船長等と確認）	<b>船舶情報</b>																											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">船名 :</td> <td style="width: 50%;">総トン数 :</td> </tr> <tr> <td>乗員 :</td> <td>旅客定員 :</td> </tr> </table>	船名 :	総トン数 :	乗員 :	旅客定員 :																							
	船名 :	総トン数 :																										
	乗員 :	旅客定員 :																										
	<b>避難基本情報</b>																											
	避難海域: 北緯 _____ 度 _____ 分 東経 _____ 度 _____ 分 緊急避難時の港内又は係留避泊地: _____																											
	<b>連絡先</b>																											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">港長:</td> <td style="width: 50%;">海上保安部 :</td> </tr> <tr> <td>港湾管理者:</td> <td>その他 :</td> </tr> </table>	港長:	海上保安部 :	港湾管理者:	その他 :																							
	港長:	海上保安部 :																										
	港湾管理者:	その他 :																										
可能な限り、事前に津波情報を確認      想定最大津波高: _____ m (到達時間: _____ )																												
<b>津波到達時間に応じた津波対応(判断目安)</b>																												
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr style="background-color: #00ff00;"> <th rowspan="2">警報レベル</th> <th rowspan="2">津波高さ</th> <th colspan="2">着岸中</th> <th colspan="2">錨泊中</th> </tr> <tr style="background-color: #00ff00;"> <th>_____分以内</th> <th>_____分以上</th> <th>_____分以内</th> <th>_____分以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>大津波警報</td> <td>3 m以上</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>津波警報</td> <td>1 ~ 3 m</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>津波注意報</td> <td>1 m未満</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	警報レベル	津波高さ	着岸中		錨泊中		_____分以内	_____分以上	_____分以内	_____分以上	大津波警報	3 m以上					津波警報	1 ~ 3 m					津波注意報	1 m未満				
警報レベル			津波高さ	着岸中		錨泊中																						
	_____分以内	_____分以上		_____分以内	_____分以上																							
大津波警報	3 m以上																											
津波警報	1 ~ 3 m																											
津波注意報	1 m未満																											
船長が判断	<b>地震情報</b>																											
	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 20%;">時刻</th> <th style="width: 20%;">規模</th> <th style="width: 40%;">発生地</th> <th style="width: 20%;">震度</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">時    分</td> <td style="text-align: center;">M</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	時刻	規模	発生地	震度	時    分	M																					
	時刻	規模	発生地	震度																								
	時    分	M																										
	<b>津波情報</b>																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">大津波警報</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">津波警報</td> <td style="width: 33%; text-align: center;">津波注意報</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">津波到達時間</td> <td style="text-align: center;">分</td> <td style="text-align: center;">津波予想高 _____ m</td> </tr> </table>	大津波警報	津波警報	津波注意報	津波到達時間	分	津波予想高 _____ m																						
大津波警報	津波警報	津波注意報																										
津波到達時間	分	津波予想高 _____ m																										
<b>船長判断</b>																												
<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center; border: none;">↓</td> <td style="width: 33%; text-align: center; border: none;">↓</td> <td style="width: 33%; text-align: center; border: none;">↓</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; border: none;">港外退避</td> <td style="text-align: center; border: none;">係留強化</td> <td style="text-align: center; border: none;">陸上避難</td> </tr> </table>		↓	↓	↓	港外退避	係留強化	陸上避難																					
↓	↓	↓																										
港外退避	係留強化	陸上避難																										

チェックリスト

(可能な限り、各作業の想定所要時間を事前に記入)

津波情報の収集手段を確保し、情報収集  
(テレビ・ラジオ・VHF)

港長・港湾管理者等の  
指示の有無を確認

港外退避の場合

- ① 乗員招集、離棧・出港（エンジン及びスラスタ）への準備（ 分）
- ② 乗客に対するアナウンス
- ③ 人動橋（及び可動橋）を確認（ 分）
- ④ 出港航路の状況（障害物及び他船の存在）を確認（ 分）
- ⑤ 綱取り支援の有無（係留索の解除、又は切断）
- ⑥ 出港後、陸上の関連部署に連絡 緊急出港まで（ 分）
- \_\_\_\_\_

最新の津波情報の聴取継続  
(テレビ・ラジオ  
VHF)

係留強化の場合

- ① 乗客へのアナウンス（ 分）
- ② 係留索ウィンチ（ブレーカ）の確認、係留索（ライン）増し締め（ 分）
- ③ 停止状態にあるアンカーの準備（アンカーがある場合）（ 分）
- ④ エンジン及びスラスタの準備（索切断、漂流に備えて）（ 分）
- ⑤ 陸上の関連部署に連絡・確認 係留措置完了まで（ 分）
- \_\_\_\_\_

最新の津波情報の聴取継続  
(テレビ・ラジオ  
VHF)

陸上避難の場合

- ① 乗客へのアナウンス
- ② 乗員（及び乗客）の点呼・確認（ 分）
- ③ 退避先、避難方法、所要時間の確認
- ④ 総員退避の指示
- ⑤ 総員退避までに必要な船内作業 退船まで（ 分）
- \_\_\_\_\_

最新の津波情報の聴取継続  
(テレビ・ラジオ  
VHF)

漂流した場合の留意（補足）

津波が襲来したときは、係留索が切断され、船舶が埠頭から離れ漂流してしまうおそれがある。また、陸上では、ボーディングブリッジのようなターミナル施設も崩壊してしまう危険性がある。船員は、これを受けて、船舶が漂流することを前提に、安全（避難）海域及び陸上の安全区域を確認しておく。

最近の貸切バス事業における事故を踏まえ、事業許可に係る更新制の導入、事業者等の欠格事由の拡充、監査機能の強化と自主的改善の促進に向けて民間指定機関が巡回指導等を行うための負担金制度の創設等の措置を講ずる。

## 背景

本年1月に発生した軽井沢スキーバス事故を踏まえ、「軽井沢スキーバス事故対策検討委員会」において6月3日に「安全・安心な貸切バスの運行を実現するための総合的な対策」をとりまとめ、再発防止策を明示

- (1) 貸切バス事業者、運行管理者等の遵守事項の強化
- (2) 法令違反の早期是正、不適格者の排除等
- (3) 監査等の実効性の向上
- (4) 旅行業者、利用者等との関係強化
- (5) ハード面の安全対策による事故防止の促進

早期に法律上の措置が必要な(2)・(3)の事項について、以下のとおり対応

### 軽井沢スキーバス事故の概要



発生日:平成28年1月15日  
 ・乗客乗員15名死亡、乗客26名重軽傷  
 ・死者10名以上のバス事故は31年ぶり  
 事業者:(株)イーエスピー  
 <今回判明した主な違反>  
 始業点呼の未実施、運行指示書の記載不備、  
 運転者の健康診断の未受診、運賃の下限割れ等

## 改正の概要

### ① 事業許可の更新制の導入

- 貸切バス事業者が安全に事業を遂行する能力を有するかどうか5年ごとにチェック

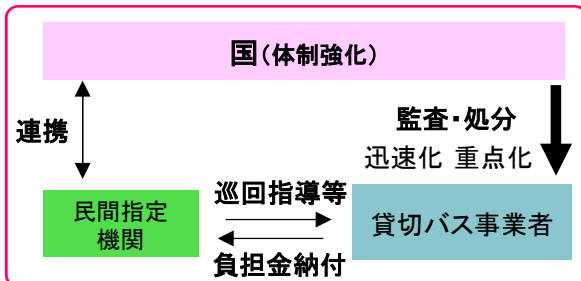
### ② 不適格者の安易な再参入・処分逃れの阻止

旅客自動車運送事業に関し、

- 事業の許可について、
    - ・ 欠格期間の延長(現行:2年⇒改正後:5年)
    - ・ 許可取消を受けた会社の子会社等、処分逃れを目的として監査後に廃業した者等の参入を制限
  - 運行管理者(※)の資格者証の交付について、
    - ・ 欠格期間の延長(現行:2年⇒改正後:5年)
- (※)乗務員の労務管理や車両の日常点検等の運行管理の責任を担う者
- 休廃業を30日前の事前届出へ(現行:事後届出制)

### ③ 監査機能の補完・自主的改善の促進

- 貸切バス事業者に対して民間指定機関による巡回指導等を行うため、当該機関による貸切バス事業者からの負担金徴収の制度を創設



### ④ 罰則の強化

- 輸送の安全確保命令に従わないバス事業者に対する法定刑の強化、法人重科の創設  
 (現行:100万円以下の罰金(違反者・法人)⇒改正後:懲役1年・150万円以下の罰金(違反者)、1億円以下の罰金(法人))

不適格者の排除等により、安全・安心な貸切バスの運行を実現

### 【目標・効果】

貸切バス事業者が原因となる事故について、乗客の死亡事故をゼロとすることを旨とするとともに、乗客の負傷事故を10年以内に半減することを旨とする。